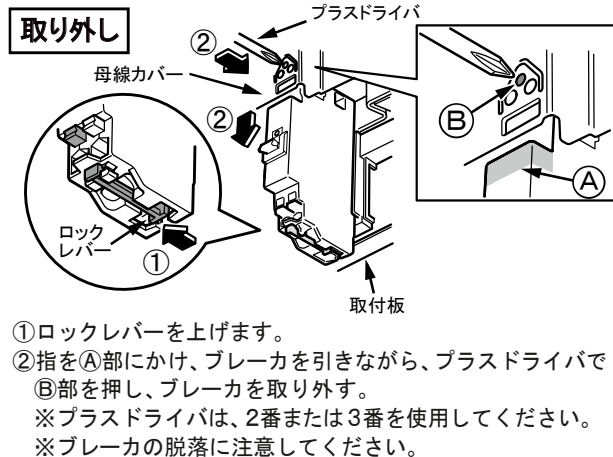


5 その他

[1] 分岐ブレーカの取り外し・取り付け



[2] 分岐ブレーカの電圧切り替え [2P2E型(100/200V)のみ]

■200V回路への切り替え方法

- 分岐ブレーカ(2P2E)を取り外します。
(上記、取り外し方法を参照してください)
- 電圧切替端子部①を矢印方向にスライドします。
必ず端(カチッと音がする)までスライドさせてください。
- 電圧確認表示②が200V(赤色)になっていることを確認します。
電圧確認表示②が100Vのままの場合は異常です。
本ブレーカを使用しないでください。
- カバー裏面に貼付している200Vシール③を貼付します。
- 分岐ブレーカ(2P2E)を取り付けます。
(上記、取り付け方法を参照してください)
- 電線接続前にブレーカの負荷側で電圧を確認してください。

[3] 電圧測定

■分岐ブレーカ1次側の電圧測定方法

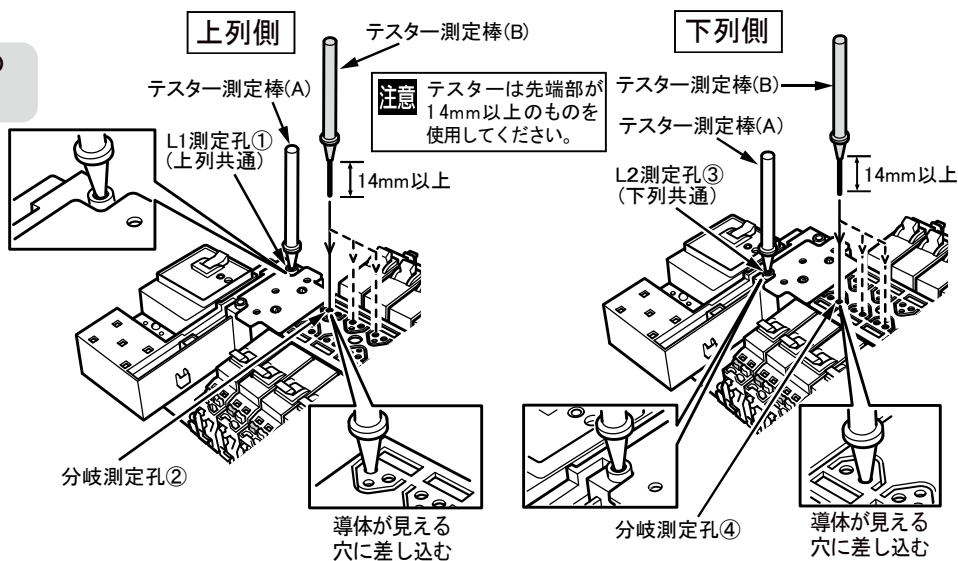
負荷機器に電圧を供給する前に各分岐回路の電圧を測定することができます。

●分岐ブレーカ上列側の電圧を測定する場合

- テスターの測定棒(A)をL1測定孔①に差し込みます。
- テスターの測定棒(B)を分岐測定孔②の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。

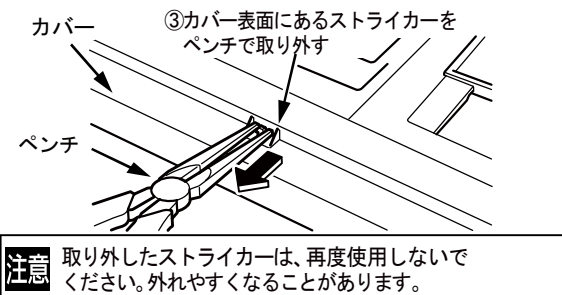
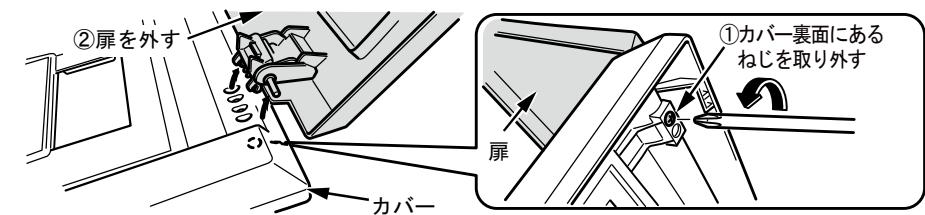
●分岐ブレーカ下列側の電圧を測定する場合

- テスターの測定棒(A)をL2測定孔③に差し込みます。
- テスターの測定棒(B)を分岐測定孔④の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。



[4] 扉付き⇒扉なしへの変更

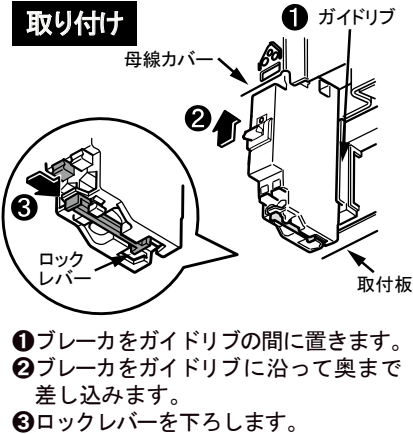
扉付き(MAタイプ)の場合は、扉を取り外して扉なしの分電盤にすることができます。



⚠ 注意

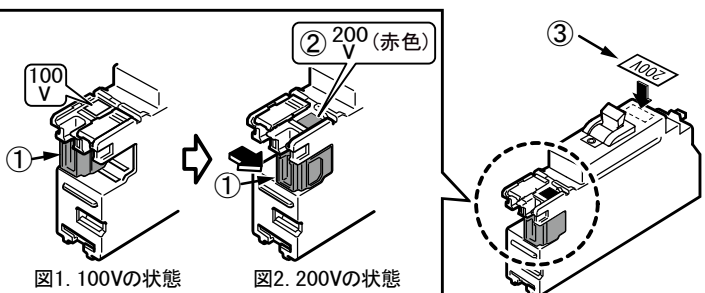
必ず主幹ブレーカは切ってください。感電のおそれがあります。
母線カバーは取り外すことができません。
無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。

取り付け



⚠ 注意

2P2E型(100/200V)のブレーカを使用してください。
必ず主幹ブレーカを切ってください。
感電のおそれがあります。

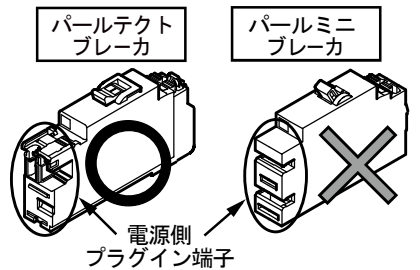


⚠ 注意

分岐ブレーカを必ず切ってください。
分岐ブレーカは正しく取り付けてください。
正しく取り付いていない場合、短絡のおそれがあります。

分岐ブレーカの増設、交換について

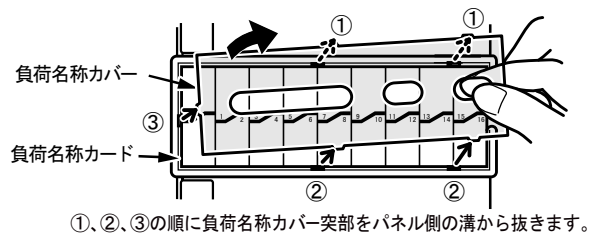
※分岐ブレーカの増設、交換の際は、パールテクトブレーカをご使用ください。
電源側プラグイン端子の形状が異なるため、パールミニブレーカは取り付けできません。



[5] 負荷名称カードの取り外し・取り付け

取り外し

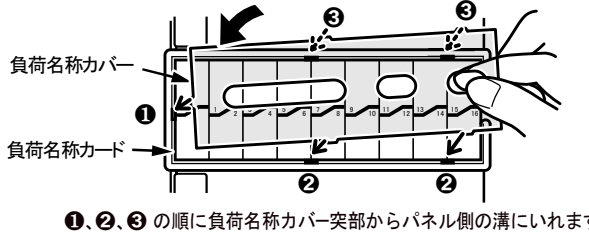
負荷名称カバーを取り外し、負荷名称カードをパネルから取り外します。



①、②、③の順に負荷名称カバー突部をパネル側の溝から抜きます。
負荷名称カバーの表面(片側)には保護シートがついています。必要に応じ、施工または清掃後に保護シートをはがして使用してください。

取り付け

負荷名称カードをパネルの表面に置き、負荷名称カバーを取り付けます。



住宅用分電盤 パールテクトの取り扱いについて

■安全上のご注意

⚠ 注意

- 分岐ブレーカのパールテクトブレーカは、弊社製住宅用分電盤 パールテクト専用品です。
弊社製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
- 分岐ブレーカの電源側プラグイン端子はバーへ確実に差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
- 分岐ブレーカの負荷側連結端子に電線を接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで電線を奥まで差し込んでください。
差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。

■施工上のご注意

⚠ 注意

- 電気工事は、有資格者(電気工事事)が行ってください。
- ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が分電盤、遮断器内部に入らないように施工してください。
感電、火災、不動作のおそれがあります。
- 配線作業は上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- 端子のL相とN相を正しく接続してください。(AC100V回路専用器種の場合)
- 端子方式が溶ダレス端子の器種については、より線のハンダ上げやバインドは行わずに接続してください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。(内線規程)

■使用上のご注意

⚠ 注意

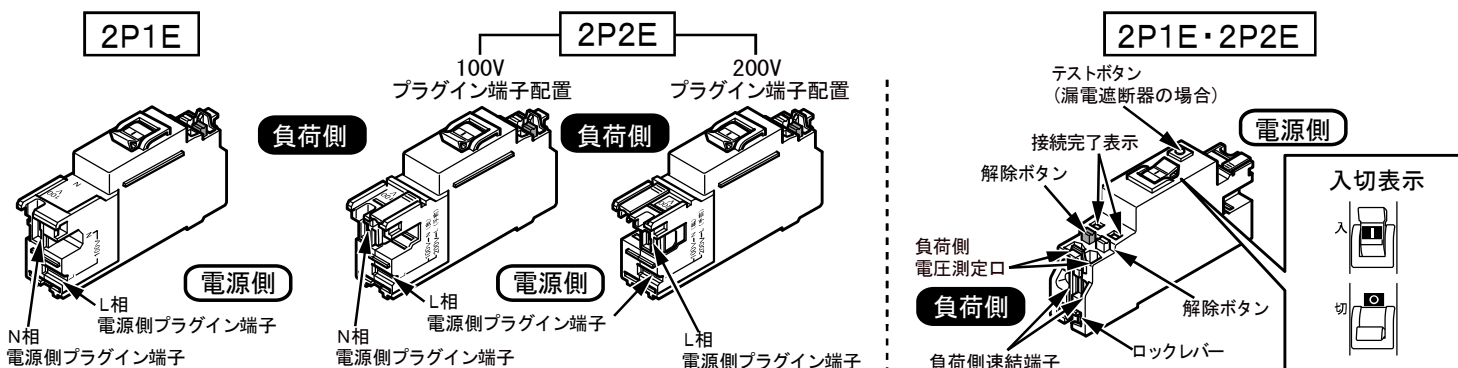
- 電気機器のアース端子は必ず接地してください。
- 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを入「I」にしてください。感電、火災のおそれがあります。
- 漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認を行ってください。漏電遮断器が切「○」にならない場合は故障です。電気工事店へ連絡してください。

■保守・点検上のご注意

⚠ 注意

- 保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- 保守・点検は、上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電、短絡のおそれがあります。

■各部の名称(分岐ブレーカ パールテクトブレーカ)



テンパール工業株式会社

<https://www.tempearl.co.jp/>

■本店 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42

技術問い合わせ窓口 TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (弊社営業日)